



## 歴史的建造物を舞台としたまちづくり取組方策 検討イメージ

### 経緯

- 人口減少、少子高齢化 ○大交流時代 ○革新技術浸透
- 「2030年の展望」では、地域資源を活かした取組を提示
- 県まちづくり審議会では、地方都市の魅力と活力の創出に向けて歴史的建造物を舞台としたまちづくりの推進の考え方を提示
  - ①地域資源の活用、②民間活力の導入、③まちの基盤整備の3つの視点に基づく取組を推進

### 具体の検討

- ① 歴史的建造物を舞台としたまちづくり取組方策（手引き）の策定
  - ・市町の戦略的なまちづくり誘導のため、市町による歴史的建造物を舞台としたまちづくり計画（仮称）の作成を想定
  - ・課題等の整理、モデル地区調査を踏まえながら、取組方策を提示
    - ⇒ モデル地区を三木市旧市街地及び加西市旧市街地とし、県と市の勉強会等を通じて取組方策を検討
- ② 促進事業、普及啓発事業の創設を検討
  - ・①の市町計画に位置づけられた事業や活動に対する支援制度



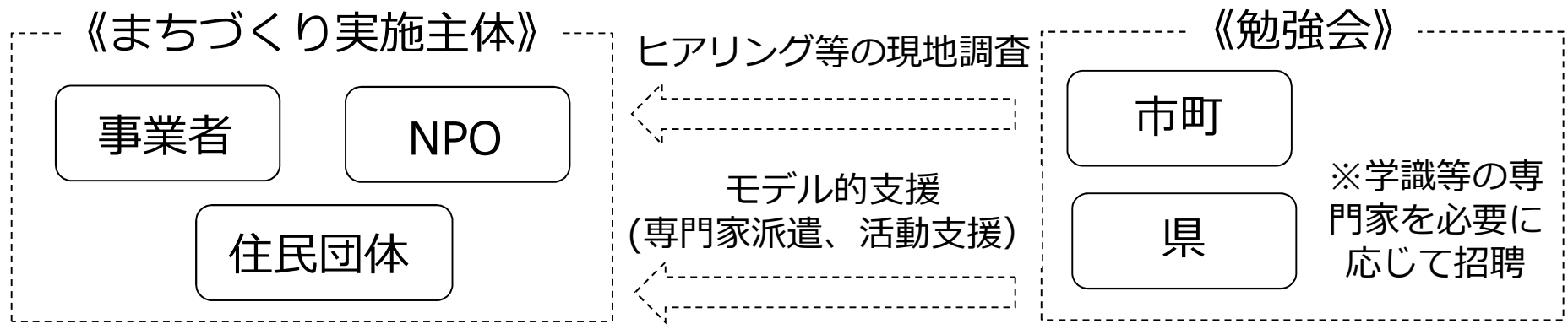
## モデル地区調査（県市の勉強会等）※イメージ

### 勉強会の目的

- 県市の勉強会等を通じて、即地的な課題把握と取組方策の検討を行い、その結果を検証し、市町の戦略的なまちづくり誘導のための手引きにフィードバック

対象市町	三木市	加西市
モデル地区	なめら商店街、芝町・平山地区他	北条地区及びその周辺他
参集	企画政策課、観光新興課、都市政策課、文化・スポーツ課	きてみて住んで課、都市計画課
検討概要	三木城下町まちづくり協議会などのまちづくり活動を基盤に、歴史的資源や文化、伝統を活用した取組方策を検討	北条地区景観まちづくりや北条旧市街地リノベーション等の取組のフォローアップを行うとともに、新たな取組の呼び水となり得る取組方策を検討

### 〔勉強会のイメージ〕





# モデル地区調査 県市の勉強会の実施状況 ※試行的に実施

<p><b>目的</b></p> <p>県・市担当者による勉強会を通じて即地的な課題把握と取組方策の検討やその検証を行い、戦略的なまちづくり誘導のための手引にフィードバックする</p>	<p><b>プログラム ※H30年度</b></p> <p>第1回：<b>まちを知る</b> まちの歴史・なりたち、現状、地域資源について整理し、舞台となり得る歴史的建造物を抽出</p> <p>第2回：<b>取組を知る</b> 現計画の方向性や現在行われているまちづくり活動について整理し、新たに必要な取組を抽出</p> <p>第3回：<b>作戦を練る</b> まちの将来像や取組のアイデア等を整理し、取組方策を検討</p>	<p><b>実施地区</b></p> <p>歴史的資源が存在し、かつこれからまちづくりに取り組む三木市三木地区、加西市北条地区を対象として実施</p>
--	--	---

**三木地区（三木市）**



○主な地域資源

- ・湯の山街道沿いの町並み
- ・旧小河家別邸、旧玉置家住宅、三寿ッ刃物製作所
- ・黒田清右衛門商店（金物卸）、旧山理商店
- ・三木城跡（国史跡）
- ・旧三木鉄道三木駅周辺
- ・大宮八幡宮秋祭り

勉強会	(第1回)H31.1.29 (第2回) H31.2.27 (第3回)H31.3.19
活性化の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町家や三木城跡等の資源が存在し、歴史的な町並みを形成</li> <li>・現在でも金物関係の仕事を行っている町家は少ないが存在</li> <li>・三木城跡は市が整備計画を作成し、老朽化した施設等の撤去や標識・案内誘導板の設置等を検討中</li> <li>・三木城跡、三木合戦、町家、金物等を連携させた取組により活性化を図り、若い人に住んでもらえる町の実現を目指す</li> </ul>
地区の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の町家は減少傾向</li> <li>・三木城跡に関する標識・案内誘導板が分かりにくい</li> <li>・三木城跡、三木合戦、町家、金物等を連携させた具体的な取組方策が不明</li> </ul>
今後の取組方策(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略的なまちづくりに向け、計画づくりを通じて関係者間で取組の方向性を共有</li> <li>・地域資源を連携させるストーリー化やその体感プログラム等を実施</li> </ul>

**北条地区（加西市）**



○主な地域資源

- ・寺町の町並み（地区西側）
- ・商家の町並み（旧街道沿い）
- ・酒見寺、住吉神社、五百羅漢
- ・高井家住宅、水田家住宅（国登録文化財・県景観形成重要建造物）
- ・屋台蔵（住吉神社の節句祭）
- ・懐徳碑（柳田國男の民俗学研究的きっかけ）

勉強会	(第1回)H31.1.18 (第2回) H31.2.15 (第3回)H31.3.19
活性化の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町家、五百羅漢、住吉神社、酒見寺等の歴史的資源が存在し、歴史的な町並みを形成</li> <li>・イオンモールやルートインホテル等が近隣に立地し、日常生活サービス機能に関する利便性は高い</li> <li>・町家のリノベーションにより、来街者向けの個性ある店舗やまちなか居住を創出し、賑わいの実現を目指す</li> <li>・市が町家をリノベーションし交流拠点・店舗等を4ヶ所整備</li> </ul>
地区の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりを牽引する人材の育成、継続できる仕組みづくりが必要</li> <li>・景観条例による規制、非水洗化、道路が狭小、閉鎖的な雰囲気等の理由により、地区内の町家が減少</li> </ul>
今後の取組方策(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗等を活用した賑わいづくりに向け具体的な取組を検討</li> <li>・事業者や住民の主体的な活動継続に向け、専門家派遣等を行いつながりながら担い手育成を実施</li> </ul>



## 歴史的建造物を舞台としたまちづくり（行程表）※イメージ

○県市勉強会での検討状況を踏まえ今後の行程を検討 ※H31以降は想定

	H29	H30	H31	H32	H33～	備考
まちづくり審議会		まち方針重点プログラムの考え方を提示 ※3回審議	手引への助言			
県都市政策課		市町ヒアリング等を踏まえた重点プログラムの検討	歴史まちづくりの手引検討	手引の運用(市町支援)	支援制度創設検討	
県市勉強会			勉強会の実施	情報交換会		
三木市	既存取組の継続		モデル検討	新たな取組		
加西市	既存取組の継続		モデル検討	新たな取組		